



町民の窓

目次

contents

未来へ 悲惨な過去を知り 平和を考える	02
立川支部、雪辱果たし6位 第23回京都府消防操法大会	06
みずぼうそう 水痘と高齢者用肺炎球菌 2つのワクチン定期予防接種化	09
まむしに噛まれたら救急車	10
ようこそ ALTマデリン先生	12

【町の位置】北緯34度51分 東経135度51分 海拔118メートル(役場)
 【町の面積】58.26平方キロメートル
 【人のうごき】人口 9,779人(-9) 男 4,856人(-2) 女 4,923人(-7)
 出生 8人 死亡 9人 転入 18人 転出 26人
 世帯数 3,565世帯(+2)
 ※平成26年8月1日現在。()内は前月との比較。

発行・編集：宇治田原町役場総務課 ☎610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10番地 TEL (0774) 88-2250 FAX (0774) 88-3231 印刷：(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

●町長直通メール nishitani@town.ujitawara.kyoto.jp ●町長直通FAX 88-2011 ●ホームページアドレス http://www.town.ujitawara.kyoto.jp



祈る瞳に 映る灯火

上) 建藤神社の百燈明。祈り込め灯火を見つめるふくしまっこ 1) 子どもの方がよく当たった茶香服 2) 建藤神社で食べる流しそうめんは格別の味 3) 夏の風物詩、浴衣で金魚すくい 下) 生産者が「木の子」と愛情込めて育てた原木しいたけを丁寧に収穫した

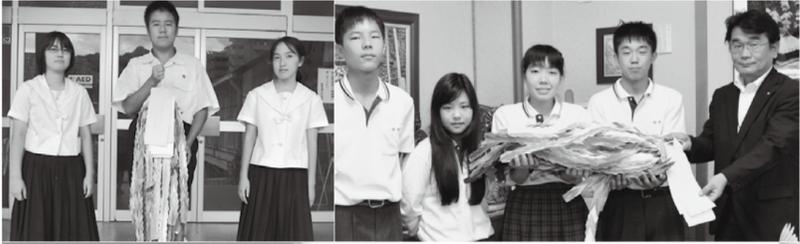


夏、自然、満喫。

リターンズ
ふくしまっこ in 宇治田原 再び



原発事故の影響で屋外での遊びが十分にできない子どもたちを招いて、自然の中で思いっきり楽しんでもらう「ふくしまっこ in 宇治田原 元気回復キャンプ」が8月16日から18日の3日間、開催されました。「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト」(=馬場哉代表)が企画したキャンプに、今年は3家族11人が参加。川遊びにスイカ割り。禅定寺地区ではトマトやしいたけの収穫も体験。納涼祭にも参加し、宇治田原の夏を満喫しました。郡山市の佐藤美華さん(36)は、「地元では子どもを屋外で遊ばせることが普通にできない。場所によっては依然、高い放射線量が観測されている。安全を考慮して子どもを外遊びさせない親も多い」と現状を語りました。本町での3日間は「自然の中で子どもたちを思う存分遊ばせることができ幸せ。温かく迎えてもらい感謝しています。親子でリフレッシュできました」と話しました。



Nagasaki S20.8.9-11:02

小中学生が 思い込めた千羽鶴 長崎の桜馬場中へ

維孝館中学校の生徒を本町平和友好特使として任命し、毎年、長崎市に派遣しています。長崎市立桜馬場中学校の平和祈念集會にも毎回参加し、平和学習を通じた交流を続けています。特使は今年も、桜馬場中学校に平和の祈りを込めた千羽鶴を贈ろうと、町内の小・中学校の児童・生徒に折り鶴の作成を呼びかけました。集まった鶴は千羽鶴にし、平和を誓うメッセージを添えて、桜馬場中学校に贈りました。 ※台風の影響を考慮し、今年の特使派遣は中止しました。



上右) 願いを込めた千羽鶴を持つ平和友好特使 上左) 思いを受け取った桜馬場中の生徒 左) 平和祈念像。垂直に高く掲げた右手は原爆の脅威を、水平に伸ばした左手は平和を表している。



折り込めた折り鶴

昭和30年秋、佐々木禎子さんという一人の少女が亡くなりました。禎子さんは2歳のときに広島で被爆。運動の得意な元気な少女に成長しましたが、被爆から10年後に突然白血病であると診断され入院しました。千羽鶴がお見舞いに贈られたことをきっかけに、「生きたい」という願いを込めて折り鶴を折り始めますが、8か月の入院生活の末、家族が見守る中、亡くなりました。折り鶴は、この事実が物語として広く伝えられたことから、今では平和のシンボルとなっています。

「げんしばくだん」という詩は、「げんしばくだんがおちると ひるがよるになって 人はおぼけになる」と書かれていました。これを読んで恐ろしさがすくく伝わってきました。私は広島に行つて、戦争は二度とやっではないかと思つきました。核兵器をなくして、核兵器のない世界になつたらいいと思つています。

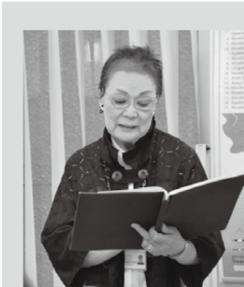
原爆体験学習
原爆体験は一瞬にして多くの人々を殺しました。爆風が学校や家を吹き飛ばし、多くの人々が亡くなりました。熱線が一瞬にして黒い煙になった人もたくさんいました。熱線は多くの火災を引き起こしました。さらに原爆は放射線をまき散らし、多くの人の命を奪いました。戦争に関係ない人がどうして原爆で殺されなければならなかったのか疑問に思っています。

実際に被爆された人の詩を読みました。「げんしばくだん」という詩は、「げんしばくだんがおちると ひるがよるになって 人はおぼけになる」と書かれていました。これを読んで恐ろしさがすくく伝わってきました。私は広島に行つて、戦争は二度とやっではないかと思つきました。核兵器をなくして、核兵器のない世界になつたらいいと思つています。

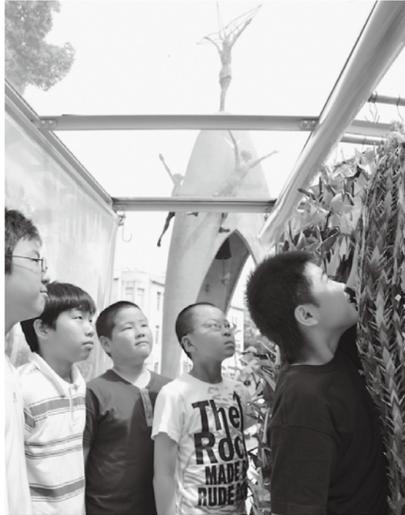
無差別に殺された悲劇 二度と繰り返さないために

8歳のとき広島市で被爆。被爆60周年の際、朗読ボランティアの募集があり、「自分のことはあまり話せないが、このボランティアならできると思い」応募したという河合さん。それ以来、被爆体験記や原爆詩の朗読を続けています。被爆当時を振り返り、「亡くなった人はそれで人生が終わってしまっていますが、原爆を生き延びるのも大変でした」と話します。

13年前には肺ガンを患い、声が出なくなる恐怖を体験。コーラスを続けていた河合さんは、改めて健康のありがたさを感じたと言います。「核兵器は絶対になくならなければいけません。何もしていない人々が無差別に殺された悲劇を二度と繰り返してはいけません。子どもたちには、「学徒動員では同じような歳の子どもたちが次々と戦地に送り込まれました。命はみんな平等のものです。かけがえのない命を精一杯生きてほしい」と語りかけています。



広島原爆死没者追悼祈念館 朗読ボランティア 河合よねさん (77)



上) 原爆の子の像に平和の祈りを込めた千羽鶴を献納 下) 参加者と同世代で被爆した人の体験記や詩を朗読



未来へ 悲慘な過去を知り 平和を考える

戦争が終わり
69年目を
迎えるこの夏。
次代を担う子どもたちが
被爆地を訪れ
悲慘な過去を知り
その現実と
向き合いました。
もう一度、私たちも考えたい。
心に刻むべき悲慘な過去を…
未来の平和を願つて。

S20.8.6-8:15
Hiroshima

小学生14人 平和の祈り ヒロシマへ

7月23・24日の広島平和体験学習に、小学生14人が参加しました。被爆体験記や原爆詩の朗読、平和記念資料館等での学習を通じて命や平和の尊さを学びました。住民の平和への祈りが込められた千羽鶴を原爆の子の像に献納しました。
(体験記は一部抜粋して記載。敬称略)



鶴飼 航
田原小6年



仁木祥真
田原小6年



吉川愛梨
田原小6年



杉野雄大
宇治田原小6年

原爆について

14万人が亡くなった原爆は恐ろしいです。人のひふがとけて、ドロドロになっていた模型を見て、胸が苦しくなりました。戦争は、人を傷つけたり、尊い命を奪ったりするので、絶対にしてはいけません。戦争を起さないといいながら、国同士が仲良くする必要はないと思います。今できることは、広島でどんな犠牲が出たのかを伝え、平和に暮らしていることに感謝することです。



坂本和歌子
田原小6年

二度と繰り返さない

「二度と繰り返さない」。一番心に残った言葉であり、ボランティアの方から私達に託された言葉だと思っています。「このような勉強をするのは悲劇を繰り返さないため。勉強をしなければ、みんな忘れてしまつて、同じことがもう一度起きてしまふ」と話されました。私は、平和な毎日が続くよう学んだことを広め、そして、未来へつないでいきたいです。



八田歌音
宇治田原小6年

原爆について

一つの原爆体験によって、家族、友達、家などの大切な人や物を一瞬にしてなくした人がいる、と考えただけで恐ろしくなりました。すぐに、そんなことが本当にあったなんて信じられません。今の生活が当たり前と思わずに、私達がどれだけ平和に暮らしているかを考えたいです。二度とこんなことがないように自分ができることに取り組んでいきたいです。



辰日孝太郎
田原小5年

平和体験学習

原爆体験は一瞬にして多くの人々を殺しました。爆風が学校や家を吹き飛ばし、多くの人々が亡くなりました。熱線が一瞬にして黒い煙になった人もたくさんいました。熱線は多くの火災を引き起こしました。さらに原爆は放射線をまき散らし、多くの人の命を奪いました。戦争に関係ない人がどうして原爆で殺されなければならなかったのか疑問に思っています。



森川千咲
田原小6年

戦争を学んで

時計の針は、午前8時15分をさしたままでした。一瞬でまちは爆風で崩れ、人々は命を落としたりひどい火傷を負ったりしました。「苦しかっただろうな」、戦争は怖いと思つていました。日本は今、平和ですが、世界には戦争をしている国もあります。一人でも多くの人に戦争や原爆の怖さを知ってもらいたいです。私達にできることは、平和を確実に伝えていくことです。



堀井ころこ
田原小5年

原爆の恐ろしさ

多くの人の命を一瞬で奪ってしまう原爆の恐ろしさ。広島に行つて肌で感じる事ができました。資料館で、原爆体験の力でひふがめくれた人形を見ました。その死めほど苦しそうな表情を見て、しょうげきを受けました。私は、核兵器は絶対にいらないと思います。核兵器があれば、また人を殺してしまうかもしれないからです。どの国も戦争がなくなつて平和になればいいと思つています。



堀井みらい
田原小5年

広島

実際に被爆された人の詩を読みました。「げんしばくだん」という詩は、「げんしばくだんがおちると ひるがよるになって 人はおぼけになる」と書かれていました。これを読んで恐ろしさがすくく伝わってきました。私は広島に行つて、戦争は二度とやっではないかと思つきました。核兵器をなくして、核兵器のない世界になつたらいいと思つています。



広島原爆を学習して

生きたくても生きられなかった人々のこんな映像を見ました。十分に伝わる苦しみ。私はなぜか耳鳴りがして鳥肌が立ちました。のどかな風景が一気にじごくのようになる。たった一つの爆弾で多くの人が亡くなつてしまふのは、世界中の人が「いや」だと思つていないはず。二度と起きないよう、原爆の恐ろしさを未来に伝えて平和な世界を作つていきたいです。



梅原里緒
宇治田原小6年

広島原爆について

69年前、2発の原爆で、広島では約14万人、長崎では約7万4千人の人が亡くなりました。放射線を浴びたことよつて、亡くなった人もいます。今でも、苦しんでいる人がいます。今、私達にできることは、広島であつたことを忘れない。このようなことが起きないように、たくさんの人に原爆の怖さを知ってもらうことだと思います。



米田あや
田原小5年

一羽一羽に込められた想い

平和記念公園でたくさんの千羽鶴を見ました。千羽鶴の一羽一羽には「戦争なんて、もう二度とこの世界で起こつてほしくない」という想いが込められていると思います。原爆ドームは、みんながその恐ろしさを忘れないようにするために残されています。戦争は絶対にしてはいけません。子ども達の頃に平和について習えば、戦争は起きないのではないかと思います。



田中遼太
宇治田原小6年

広島平和体験学習を終えて

原爆によって、多くの人のさまざまな楽しみやその時間が、一瞬にして絶えに変わりました。ガラスが割れた人や、火のついた家に押しつぶされて焼け死んだ人、「水をくれ」と水を飲みたがった人、家族がみんな死んだ人の絶望は計り知れません。原爆で死んだ人、放射線による病で死んだ人すべてが、平和な日本を見て成仏してくれるよう、ずっと願っています。



米田菜々穂
田原小5年

戦争の恐怖

戦争に対する恐怖。前より2倍3倍にふくれ上がりました。特に、被爆体験記の朗読では、戦争の恐ろしさがひしひしと伝わってきました。本当の話なので、恐怖を感じました。戦争は起こしてはならないし、平和にしようという心も大切だと思います。核兵器をなくし世界を平和にするために、このことを忘れないように、次の世代へと伝えていくことが大切だと思います。



未来へ

生き地獄。戦争は絶対にしたらあかん。平和であってほしい

「地獄の一丁目」

中辻さんは19歳で入隊。すぐに中国東北部(旧満州)へ送られます。博多から釜山へ貨物船で向かう海上、魚雷を避けるために何度も船が揺れ、船酔いに苦しみました。中国北東部に着くと部隊に配属。これが「地獄の一丁目」でした。軍では、不条理な体罰を日常的に受けました。覚悟していたものの辛い軍隊生活を送りました。

次々と撃たれる仲間 死と隣り合わせの日々

昭和20年8月9日、ソ連が対日参戦。中辻さんのいた中国北東部にも侵攻します。ソ連の戦車が地平線いっぱいになり、黒竜江を渡り追って来ました。一方的に攻撃を受け、山に登って逃げました。同期の初年兵は撃たれ、次々と倒れました。寝る間も休む間もなく逃げのばかりの日々。水も食糧もない中で苦しい戦いを強いられました。

1年目で250人中65人死ぬ。生き地獄の収容所

武装解除した隊は、一旦、孫呉の臨時収容所へ。それから黒竜江で、どこの国のものか分からない黒い船に乗ります。すぐに降ろされたのが、シベリアでした。このとき初めて捕虜になったことを知りまし。今後の抑留生活を悟り「日本に帰れないと思うと涙が止まらなかつた」。

度目は、破甲爆雷(対戦車兵器)の準備を命じられたとき。日本は8月15日に終戦を迎えましたが、中辻さんの部隊は21日まで戦い続けていました。20日、翌日の破甲爆雷決行の命令が下りました。戦車に近づいて使う爆雷は、決死の任務。それでも、当時の教育によって「嫌だとも死ぬのが怖いとも思わなかつた」と言いました。21日に部隊が停戦を決定。任務を実行せず

に済みました。1年目で250人中65人死ぬ。生き地獄の収容所



3年間のシベリア抑留を経験 中辻三郎さん(89) 禪定寺在住

取容所について、中辻さんは「人間の住む所ではない」と強い口調で繰り返します。氷点下30度の極寒の地でも支給される毛布は一枚だけ。板間に6人が身を寄せ合って寝ました。収容所近くの炭坑でまくら木やレールを運ぶ作業を強制されました。わずかな高さの線路でさえまたげないほど疲れきっても、食事は、マッチ箱1つ分の大きさしかない黒パンとスープだけ。仕事の達成度が低いとさらに食事が減らされます。土や植物、腐った馬鈴薯も食べました。炭坑作業の休憩中も、何人か寄って足踏みして寒さをしのぎました。休まる時がありません。

心がすさみ、生死を共にした人間同士でも喧嘩や食事の奪い合いが、頻繁にありました。耐え切れず脱走を試みる者もいました。防寒具の裏地に羊毛が使われて

いたので、防寒具を裏返し、雪に紛れて逃げようとした。監視兵に射殺されました。雪が真っ赤に染まりました。日本には帰れないと理解していても、逃げるぐらい追い込まれていました。寒さと不十分な食事、過酷な労働で、中辻さんのいた中隊250人中、最初の年に65人が死にました。

一人ひとり供養しては、追いつかなくなり、「〇〇兵長以下何名」という札一枚で埋葬するようになります。「こんなところでは死んでも死にびてやる」。絶対に生き延びてやる。10年以上にも感じた3年の抑留生活を生き抜きました。

思い出したくない記憶「伝えなければ」

昭和23年、ついに帰国。10月19日、中辻さんは舞鶴の引揚港へ戻ってきました。殺風景なシベリアの土地と

別れ、見えたのは舞鶴の棧橋。日本はこんなに美しくなったのか。京都駅で、迎えに来てくれた父、弟と涙の再会を果たしました。「あれから、贅沢も文句も言わない生活を続けてきた。今は人生に何も不足はない。極楽です」と話します。

それでも「当時のことは思い出したくない」。妻にさえ話せませんでした。「思い出すと涙が出る」。しかし、平成15年1月、50年間連れ添った妻の富美枝さんが亡くなりました。「自分の体験を生き延びていううちに伝えておきたい」と思ううちになります。復員後、特産品を贈っていた戦友が一人、また一人といなくなり、最後の一人が3年前に亡くなり、さらに思えば強まります。若い世代に対し、「戦争は絶対にしたらあかん。平和であってほしい」と思いを託しました。

69年前の記憶

69年の歳月は、戦争という事実を風化させています。年々、戦争を経験した人は少なくなっています。後世に語り継ぐことが難しくなっています。当たり前前の平和も、願ひ続けなければ、願う人がいなくなれば、守れなくなるかもしれません。悲惨な過去を知ることは、未来の平和を考えること。今を生きる戦争を体験した人たちが語る真実と向き合ってみませんか。

生きて帰れて 良かった

(弥一さん)

未来を考えると 余裕なんてなかった

(愛子さん)



橋本弥一さん(90) 愛子さん(88) 夫婦 立川在住

昭和19年、弥一さんは20歳で徴兵に行くのは当たり前」の時代です。最初に平海兵団へ配属。そのひと月後、防府海軍通信学校で電信術(電信)練習生となりました。弥一さんは練習生でしたが、戦地行きを命じられた同期生もいます。

学校では上下関係が厳しく、何度でも懲罰で殴られました。昭和20年6月、卒業と同時に釜山海軍航空隊に配属されました。終戦後も残務処理に追われ、復員したのは9月に入ってからでした。

同期の中には、戦地に行っただけで帰ってこなかった人もいます。「自分も戦地に行っていたら、帰って来られなかった。ただ運がよかった。今生きていてこそ自体がありがたい」。

工場での食事は、豆粕をご飯に混ぜたものや、いもごはん、雑穀。1〜2週間は同じものが出されました。麦飯は上等なものでした。当時は毎晩9時頃にB29がやって来て、繰り返し警戒警報が発令されていました。それでも「あまり怖いとは思わなかつた。未来のことを考える余裕がなかつた」と言います。

昭

和19年、弥一さんは20歳で徴兵に行くのは当たり前」の時代です。最初に平海兵団へ配属。そのひと月後、防府海軍通信学校で電信術(電信)練習生となりました。弥一さんは練習生でしたが、戦地行きを命じられた同期生もいます。

同期の中には、戦地に行っただけで帰ってこなかった人もいます。「自分も戦地に行っていたら、帰って来られなかった。ただ運がよかった。今生きていてこそ自体がありがたい」。



海軍通信学校時代の弥一さん

18 歳の冬、男兄弟のいない愛子さんは「国

の助かりませんでした。舞鶴から出征する人を何度も見送りました。死ぬために行く人を、誰もが笑顔で、万歳をしながら送り出

広島出身者として 改めて重要と感じる 「戦争や平和を考え続けること」

広島平和体験学習では、参加された皆さんの熱心な朗読を聞き、真剣に展示物を見ている姿が印象的でした。私自身が広島出身ということもあり、平和について積極的に学ぼうとする姿勢がとてうれしかったです。同時に、ヒロシマを伝える難しさにも気付かされました。初めて原爆について学ぶ人に、どんなことからどんな風に伝えればよいのか、これからも考えていきます。

戦争を体験された中辻さん、橋本ご夫妻にもお話を伺いました。文献を読んだり映像を見たりするよりも、実体験を直接お聞きの方が戦争の悲惨さや恐ろしさが生々しく伝わってきました。私達の世代にとって、当時の様子を想像することは難しくなっています。戦争が教科書に書かれている歴史の一部として片付けられてしまわないよう、戦争や平和について考え続けることの重要性を改めて感じました。



水原美咲 (21) Mizuhara Misaki 京都府立大学公共政策学部3年生。インターンシップで宇治田原町へ。平和事業や「町民の怒」平和記事の作成を担当。広島市出身

平和の種をまいてください

青少年たちへ託すメッセージ

いづれ大きなニュースになる。「ナガサキ、ヒロシマの最後の被爆者が亡くなりました」。それで終わりました。それでは何のために7万4千人、14万人は死んだ。平和のバトンを受け取ってください。大人が起こした戦争。でも、戦争は大人も子どもも関係ない。

どの国にも原子爆弾があつてはならない。どの国にも子どもがいる。午前11時2分まで生きている子どもがいっぱいいた。11時3分を迎えることができなかつた。みんなはこの子たちの分まで生きてほしい。城山小学校には1,400人の子どもがいた。生き残ったのはたった43人。今、同校の資料室には死んだ人の名前が書かれているが、700人分しかない。ある

子が「八木さん、長崎の原爆で亡くなった人が、およそ7万4千人というの、おかしな。一人ひとりの人生があるのに」。戦争は一人ひとりの命をそんなふうにしてしまう。

お米を食べた記憶がない。かぼちゃばかり食べていた。味噌は配給。薄い味噌汁。うどんを2cmずつに切りながら食べた。空襲警報が出ると、母はどこからか出してきた砂糖をくれた。

8月9日、出でいた空襲警報が解除され、防空壕から出た。自宅で兄弟5人が、屋根から飛行機に手を振った。そのとき、飛行機の周りがビーッと光った。ドーンと突き上げがあった。ガタガタと揺れた。目を手で押さえ、頭を膝にもぐらせ。しばらくして家の外へ



八木道子さん 長崎の爆心地から53.3kmの自宅が被爆。当時6歳。平成25年長崎市長官邸で講演

ビジネスからパーソナルまで

90年の歴史の中で培った経験やノウハウと、最新のデジタル技術と設備を駆使してお客様のニーズにお応えします。

自社設備による一貫生産だから中間マージンゼロ、安くても早い。

新しいこと 進んでやる

Shin Shin-DO 有限会社 新進堂印刷所

〒611-0021 宇治市宇治妙楽9 (妙楽通) TEL. (0774) 22-3024 FAX. (0774) 23-0649

Panasonic

自由設計リフォーム **Refine**

リファイン大賞で、全国最優秀グランプリを受賞した、リファイン京田辺は、リフォーム・増築・改築・改装・新築を通して、生涯「げんき」をサポートする健康長寿の住まいをつくる専門店です。

●毎週日曜日に新聞折込しています!

検索

Refine 京田辺

京田辺市三山木西荒木6 通話料無料 0120-806-200

18歳未満の子どもさんのいるご家庭には、プレミアムカードを役場福祉課へお申し出ください。

The 700 U-P CARD PREMIUM

地域のみなさんといっしょに、この町の人々を応援します。

UP CARD 宇治市 宇治市商業振興協同組合

JAバンク

あなたの街の近くで便利なJAです。

お問合せは近くのJA窓口又は海外担当へ

JA京都やましろ 宇治田原町支店 (0774) 88-2034

一緒にうれしい **On Your Side**

中央信用金庫

みなさまのすぐとなり 京都中央信用金庫がいます。

宇治田原支店 宇治田原町後東南250m ☎ 0774(88)4311 ☎ 0774(88)4494

ながーい、おつきあい。

住宅ローン 事業融資 資産運用 新規口座開設

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します!

飾らない銀行 **宇治田原支店** **京都銀行** TEL.0774(88)3737

がんばってます！消防団

立川支部も出場します

消防団総合訓練

9月14日(日) 午前9時～
※雨天9月28日順延
▶住民グラウンド



一糸乱れず行進する奥山田支部 (前回の「小隊訓練」)

消防団員が、日頃の訓練の成果を披露します。各支部が、ポンプ操法や小隊訓練など、各種訓練を行います。立川支部が2年間、打ち込んできた小型ポンプ操法も実演されます。消防団員の勇姿を見にご来場ください。 図総務課 ☎88-6631

知識と意識で自らを守る
「防災資料展」

9月1日(月)～8日(月)
総合文化センター2階ギャラリー



↑ 昨年の台風18号についても展示

台風や大雨、地震等の災害に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災意識の啓発と防災に関する知識普及のため、「防災資料展」を開催しています。昭和28年の「南山城水害」の資料をはじめ、防災マップ(土砂災害・田原川洪水ハザードマップ)や地震ハザードマップなどを展示しています。 図総務課 ☎88-6631

こちら消防分署

救急医療週間期間

9月7日(日)～13日(土)

9月9日は「救急の日」です。救急車を呼ぶときは、119番してください。

通報は▶▶▶
「落ち着いて、正しく、情報を伝える」

- 何が起きているのか
- 場所はどこなのか(住所、目標となる建物など)
- どんな状態なのか
- あなたの名前と使用の電話番号

▶救急車が近くに到着したら、安全な場所で誘導をお願いします。



図宇治田原分署 ☎88-5500



10) 夜間でも暑く滝のように汗が流れる
11) 約7kgもあるホース担いで全速力で走る。仕事を持ちながらの連夜のハードな訓練で、榎木選手は体重が5kgも減った 12) 息がピッタリ合った操法を見せたポンプ周りの2選手。地道な反復練習を繰り返していた

4) 0.1秒でもタイムを稼ぐため全力疾走する榎木選手 5) キリッとトビを構える木原選手 6) 動作の正確性が特に問われる3番員。ポンプを丁寧に扱う垣口選手 7) 競技終了後、2年間の訓練を選手とともにしてきた指導員が奮闘を称える 8) 本部役員はハイタッチで選手を出迎えた 9) 選手をサポートしてきた立川支部メンバーらと



3) 1) 気合を入れれば本番 2) 気持ちを一つにエールを送る本町消防団員ら 3) 火点をスバッと射抜いた下岡選手

京都府立丹波自然運動公園で8月3日、第23回京都府消防操法大会が行われ、宇治田原町消防団(副団長今西晋作)の第1分団第2部(立川支部・橋本一也部長)が、6位入賞を果たしました。

この大会は、京都府内の団員の消防技術の向上と士気高揚を図るため、2年に1回開催されます。小型ポンプなどを使用し、火点に向けて実際に放水。その一連の流れや動作のスピードと正確性、安全性を競い合います。

本町からは、第1分団第2部が「小型ポンプ操法の部」に出場しました。

本町第1分団第4部(奥山田支部)が優勝した昨年の第22回綴喜支部消防操法大会では、緊張やプレッシャーから実力が出しきれず、惨敗を喫した立川支部。上位の大会となる今大会でのリベンジに燃える選手たちは、春から大会に向けて、連日連夜の訓練に、砂まみれになって汗を流してきました。

今大会の小型ポンプ操法の部には、府内の各消防団を代表する全

私には「日本一」の操法。訓練に携わった皆様に感謝

今大会へは訓練当初から、一に規律(動作の正確性)、二に規律に取り組んできました。本番で選手たちは、訓練で取り組んできた成果をすべて出しきってくれました。それが、6位入賞という素晴らしい好成績につながり、大変うれしいです。私の中では「京都一」いや「日本一」の操法だったと思います。選手の皆さん、そして陰ながら支えてくれた立川支部の皆さん、本当にご苦労様でした。訓練に携わっていただいたすべての皆様に心から感謝しています。

操法指導員長 藤田真至 分団長

あがり性で真面目な選手たちを支えてくれた方々に感謝

選手たちが、ほんとによく頑張ってくれました。今西団長が掲げた「絶対優勝」には届きませんでしたが、恥かしくない結果だと思います。あがり性でスロースターターの選手たち。しかし、補って余りある練習熱心さと、真摯に課題と向き合う真面目さを持っています。昨年の綴喜大会は、本来の力を出しきれず惨敗。この悔しい思いもあり、今大会では気負うことなく力を発揮できたと思います。訓練にあたっては、ご指導、ご協力くださった関係者の方々、家族には本当に感謝しています。

立川支部 橋本一也 部長



Player's comments

府大会で6位入賞した立川支部の選手たち (①性格 ②チームでのポジション ③職業)

<p>3番員</p> <p>選手になり、色々な方と繋がりを持つことができました。多くの方にバックアップしていただきました。綴喜大会での悔しさから始まり、府大会での喜びで締めくくった2年間。計り知れない程、多くのことを学びました。今後これらを伝えることで、恩返しできればと思います。</p> <p>①負けず嫌い ②ムードメーカー ③会社員</p>	<p>2番員</p> <p>根気強く教えていただいた本部、指導員の皆様、仕事で忙しい中、訓練の準備や疲れていたときに応援してくれた立川支部の皆様、ありがとうございました。チームの一員として訓練できたことが誇りです。この経験を生かしてこれからも宇治田原町消防団を盛り上げていきたいと思っています。</p> <p>①のほほん ②ゆるキャラ ③農業</p>	<p>1番員</p> <p>自分らの弱さを痛感した昨年の大会。今大会で取り返すという一心で訓練に励みます。本番では宇治田原町消防団のチーム力を披露でき、とても満足しています。本部、指導員、立川支部、分署の皆さんの指導、支援に感謝。訓練への参加に理解してくれた家族に対しても感謝しています。</p> <p>①気まぐれスロースターター ②リードオフマン ③会社員</p>	<p>指揮</p> <p>昨年の綴喜支部大会では、結果がせなかつた。その悔しい思いを糧に絶対に優勝しよう!という目標を目指してみなで訓練に励みました。その結果が6位でしたが、みんなが悔いなく訓練の成果を発揮することができ、最高の気分で大会を終えることができました。</p> <p>①生真面目 ②リーダー的存在 ③会社員</p>
---	--	--	--

まちかどほっとナウ

Ujitawara Town Topics

高校総体サッカーで準優勝 本町出身の中松さん、前川さん来訪

8/12

全国高等学校総合体育大会の準優勝に貢献した、京都精華女子高サッカー部の3年生・中松瑞月さん（銘城台）と1年生・前川恵里佳さん（銘城台）が西谷信夫町長を訪れました。トップ下の中松さんは「すごい会場（駒沢オリンピック公園総合運動場）で決勝戦ができてよかった」、ディフェンダーの前川さんは「1年生で貴重な体験ができた」と話しました。同校は、府予選で優勝し近畿大会へ。同大会で準優勝し全国大会の切符を掴みました。16の強豪校が集ったトーナメントを勝ち進み、決勝の舞台へと登りつめました。



←レギュラーで活躍する前川さん（左）と中松さんは、本町の少年サッカーチーム「FC鷺鷥」出身

夏野菜の実も皮も調理 エコパートナーシップうじたわら エコクッキング教室

7/27

エコパートナーシップうじたわらが、恒例の「エコクッキング教室」を開催しました。初めて男性が3人参加した今回は、「夏野菜の活用」をテーマに、生ごみを出さない調理について学びました。スイカは赤い実の部分をスイーツに、残りの実は煮詰めてスイカ糖にします。さらに緑の皮は干してお茶、白い部分はスープにして、味わいつくします。糖尿病の予防に良いゴーヤは、天ぷら、佃煮、おやき、ゴーヤチップスと、工夫を凝らした多彩に調理。特に好評だったのは佃煮。いつも捨てているゴーヤのわた。実は栄養価が高いのです。天ぷらは、にが味もなく、ふんわりした食感で、とてもおいしかったです。



〈広報モニター（南）武光八重子さん〉

募集

町営住宅（岡之敷団地）入居者募集

募集戸数 1戸（2人以上申込みの場合は抽選）
団地所在 南岡之敷1-4-8第13号
間取り 3DK（62・29㎡）
駐車場 1台

家賃 町営住宅の設置及び管理に関する条例、同施行規則（世帯の所得で異なる）
受付期間 9月1日（月）～11日（木）午前8時30分～正午／午後1時～5時15分
申込み 申込書に必要書類を添えて持参。募集案内と申込書は建設・環境課に備付け。町HP掲載

入居日 10月1日（水）
資格 ①公営住宅法で定める入居収入基準以下である
②現在同居か同居しようとする親族がある
③住宅に困窮している
④町内に居住か職場がある

※必要書類など詳細はお問い合わせください。
※応募不可

風致地区条例制定にあたってのパブリックコメント

宇治田原町の風致地区について、京都府から宇治田原町への許可権限等の委譲に伴い、町が条例を制定することとなりました。

条例を制定するにあたり、町の考え方をまとめましたので、住民意見募集（パブリックコメント）を行います。※風致地区は都市内外の自然美を維持保存するため、建設物の建築や樹木の伐採などに一定の制限が加えられる。

資料の公表 ▼町HP▼役場1階窓口、2階建設・環境課、総合文化センター
募集期間 9月1日（月）～9月30日（火）
提出方法 ①住所②氏名③連絡先④勤務先⑤意見を記入し、FAXかEメール（添付ファイル不可）、郵送
※様式不問。電話・口頭による応募不可

意見の取扱い ご意見は、内容をとりまとめ、町の考え方を町HPで公表（氏名等の個人情報公表せず）
町建設・環境課（〒610-0289（住所記入不要）・FAX 88-3231・Eメール toshikei@town.ujitawara.jp）

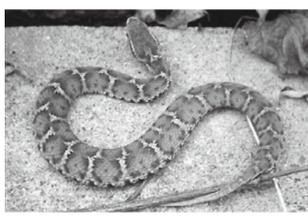
家族介護者リフレッシュ事業

在宅で家族の介護をしていると、日頃からストレスを抱えてしまいがち。日帰り旅行で、参加者同士の親睦を深めながら、リフレッシュしませんか。
対象 要介護1～5の認定を受けている方を自宅で介護している方
日時 10月8日（水）午前9時15分～午後3時30分
集合 総合文化センター駐車場
内容 あいとうマーガレットステーションでアレンジメントフラワー体験と昼食、三井アウトレットパーク滋賀電車で自由行動
参加費 1,000円
定員 先着20人

お知らせ

新築・増築家屋の評価に伺います
新築・増築家屋に対する固定資産税の算定の基礎となる「家屋評価」に、税務・会計課職員（身分証明書を持参）がお伺いします。平成26年中に評価の対象となる家屋（離れ・倉庫・車庫などを含む）を新築・増築された方には、訪問日時等の案内をお送りします。なお、家屋の内容によっては建築資料等の借用をお願いすることがあります。ご協力をお願いします。
国税務・会計課（88-6633）

まむしに噛まれたら救急車を呼ぶ
まむしに噛まれたときは、傷口を動かさないで安静にし、できるだけ早く患者を医療機関に運ぶことが大事です。早期治療が必要ですので、救急車を要請してください。
農作業などではまむしに十分注意してください。



三角形の頭部、中央に黒い斑点のある、だ円形の斑紋が特徴です。

敬老祝金を支給

長年地域を支えてきた高齢者に敬意を表し、長寿を祝して、町商工会発行商品券をお贈りします。対象者には、民生委員さんを通じて9月中旬に配布します。
対象 今年数え年で白寿、米寿、喜寿を迎える方で、9月1日現在で引き続き3

年以上町内に在住する方
①白寿3万円②米寿2万円③喜寿1万円
敬老会 今年11月2日（日）に開催します。対象となる70歳以上の方は、10月上旬にご案内します。
福祉課（88-6635）

※いづれも入院や施設入所をしている方は除く
福祉課（88-6635）
臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の申請受付中
消費税の引上げに伴う臨時福祉給付金と「子育て世帯臨時特例給付金」の申請を受け付けています。申請は、申請書を返信用封筒で郵送するか役場1階窓口にて提出してください。
申請期限 12月25日（木）
福祉課（88-6635）

竹木の繁茂で通行に障害がある（恐れがある）
※倒木等で歩行者や車両等に事故が発生した場合、樹木の所有者が責任を問われることがあります。
作業時の注意 ▼電線や電話線付近の作業は危険です。事前に関西電力営業所かN T T支店に連絡し、立ち合いのもとで行ってください。
▼通行車両や歩行者の安全と樹木からの転落には十分ご注意ください。
町建設・環境課（88-6637）

下水道
下水道が使用できる区域の方で、排水設備工事を行っていない方は、下水道を有効に機能させるため、1日も早く行ってください。
町上下水道課（88-3337）
下水道受益者負担金・浄化槽整備推進事業負担金2期分納入のお願い
9月は、公共下水道受益者負担金分割納付と浄化槽整備推進事業負担金の第2期分の納期です。対象者には納付書をお送りしています。9月30日までに納付してください。
町上下水道課（88-3337）

犬のしつけ教室
①講義 10月7日（火）
②③④実技 10月14・21・28日（火）
⑤予備 11月4日（火）
午後2時～3時30分
のみ午後1時30分～3時30分
場所 井手町自然休養村管理センター
定員 ▼飼い犬同伴の参加者 10人 ▼飼い主のみ参加者 20人
募集期間 9月16日（火）～19日（金）
町・国山城北保健所衛生室（82-12912）

講座

さまざまな困難を克服しながら日常生活を頑張っている方に、応援金（商品券）を支給します。対象者には9月下旬に案内をお送りします。案内のない方で該当すると思われる方はご連絡ください。
対象 7月1日現在、6か月以上本町に居住し、次のいずれかに該当する方
①65歳以上の要介護度4、5の方を、主に介護している方
②身体障害者手帳（1、2級）、精神保健福祉手帳（1、2級）、療育手帳（A判定）をお持ちで、住民税非課税世帯の方
③70歳以上の単身世帯の方

道路に張り出している樹木の伐採のお願い
道路や歩道への枝の張り出しや倒木は、歩行者や自動車の通行の障害になります。通行や荒天時の安全確保のため、次の土地所有者は樹木の伐採・枝払いをしてください。
・道路、歩道へ樹木が張り出している
・枯れ木、折れ枝で通行に障害がある恐れがある

「げすいどうみずのみらいをまもる会」
9月10日は下水道の日
希望される方は、納付書を送付しますので、ご連絡ください。
町上下水道課（88-3337）

就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験
病気などやむを得ない事由で中学校を卒業していない人に対して、高等学校入学

申込期限 9月24日（水）
町・国地域包括支援センター（88-3719）

まちかどほっとナウ

Ujitawara Town Topics

優雅な調べに祈り込め 奥山田 ねりこみ囃子

8/15

五穀豊穡や家内安全を願う区民らが、「ねりこみ囃子」を奏でながら天神社に奉納しました。ねりこみ囃子は、奥山田で伝承されている郷土芸能。正月に病魔退散などを祈願し、鉦や太鼓を鳴らして踊ったのがルーツとされています。

会館前に集まった区民らが、天神社までの約200mをゆっくり練り歩き、横笛、太鼓、鉦の「コンチキチン」と優雅な調べを響き渡らせました。



地域の絆感じる 禪定寺「ふるさと納涼祭」

8/17

禪定寺地区で「ふるさと納涼祭」が行われました。今年は「ふくしまっこ in 宇治田原プロジェクト」の皆さんも企画から参加。夜店や金魚すくいなどが並ぶ会場は、例年に増して大賑わいを見せました。クライマックスは、恒例の会場が一体となった盆踊り。浴衣姿の子どもや若者が、お年寄りに教わりながら踊る光景に、この地域の絆の深さを感じました。



〈広報モニター（禪定寺）奥村富美枝さん〉

「いっ加減」
8月15日、ねりこみ囃子が今年も無事に天神社に奉納されました。ねりこみ囃子は、江戸時代から伝わり、鉦や太鼓を打ち鳴らして踊った雨乞いや五穀豊穡を願う儀式が始まりと言われています。現在は、「ねりこみ囃子保存会」と「奥山田考房」が中心となっていて伝統を守ってくださっています。

「いっ加減」が必ずあると思います。ここ最近では、ねりこみ囃子の演奏CDが作成されました。YouTubeでねりこみ囃子の音の音が配信されました。いつまでも8月15日、お盆の夜にねりこみ囃子が響くことを願って、私自身もこれから微力ながら協力できればと考えています。

住民体育館に ミニバスケット台 導入しました



独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金を受けて、移動式ミニバスケット台を一对購入しました。住民体育館でミニバスケットボール競技ができるようになりました。ご活用ください。
町住民体育館 88-4567

モニター通信

広報モニター
久野村大輔さん（奥山田）

「いっ加減」
8月15日、ねりこみ囃子が今年も無事に天神社に奉納されました。ねりこみ囃子は、江戸時代から伝わり、鉦や太鼓を打ち鳴らして踊った雨乞いや五穀豊穡を願う儀式が始まりと言われています。現在は、「ねりこみ囃子保存会」と「奥山田考房」が中心となっていて伝統を守ってくださっています。

「いっ加減」が必ずあると思います。ここ最近では、ねりこみ囃子の演奏CDが作成されました。YouTubeでねりこみ囃子の音の音が配信されました。いつまでも8月15日、お盆の夜にねりこみ囃子が響くことを願って、私自身もこれから微力ながら協力できればと考えています。

町立図書館 ☎88-5852



世界美しい書店
今井栄一 著
おくりものは ナンモニナイ
パトリック・マクドナルド 著
今日は特別な日です。ムーチは大好きなアールに贈り物をしたと思っています。ムーチはアールが持っているいなものをあげようと考えていました。けれども、アールは何でも持っているのです。何でも持っている友だちを喜ばせるプレゼントってあるのでしょうか。

時間のあるとき、特に用事なくても書店に立ち寄る人は多いと思います。ぶらぶら書店の中を歩きながら目に飛び込んできた本を冷やかし気味にめくってみたり、はたまた思ってもかけない「運命の一冊」との出会いを果たしてしまったり。書店で過ごす時間は旅に出ることにちよっと思っています。夏の旅行に行きそびれてしまった人達を「世界の美しい書店」にご招待します。

今月の予定

休館日 毎週火曜日
25日（木・館内整理日）
おはなし会
①13日（土）11:00～
②27日（土）11:00～
「絵本のじかん」交流会
25日（木）10:00～11:00

図書館だより

朗読講座
～日本の神話を読もう～
大人のための「ものがたり」
講師 六嶋由美子さん（ひとりものがたり）
日時 ①9月25日②10月2日③9日（木）
午後1時30分～3時（3回シリーズ）
会場 総合文化センター研修室2
定員 先着15人（町内在住・在勤者）

お知らせ
23日（火・祝）は開館しています
今年度、試行的に「祝日の開館」と「土日の開館時間の延長（10:00～18:00）」をしています。

町特産品が当たる

福祉バス 利用者数クイズ



正解者の中から
抽選で10名に
町特産品など進呈

応募期限
9月30日(木)

平成26年4月1日～9月30日の半年間で、福祉バスののべ利用者数は何人でしょうか？次の中から1つ選んでください。

- ① 6,501人～7,000人
- ② 7,001人～7,500人
- ③ 7,501人～8,000人
- ④ その他

ヒント 今年4月～7月末で、1日平均約60人にご利用いただいています。1月あたり約20日運行しています。

応募方法

答え・氏名・年齢・住所・電話番号を明記のうえ、郵送か電子メール、FAX、持参のいずれか。

正解発表

クイズの答えは「町民の窓」11月号で発表します。当選者の発表は発送をもって代えます。

図・囲企画・財政課 ☎88-6632・FAX88-3231
Eメール: kikakuseisaku@town.ujitawara.kyoto.jp



←福祉バスの「時刻表」と「運行ルート」は、今号に挟み込んでいます。



Message



はじめまして。宇治田原町に赴任できて、とてもうれしいです。美しいこのまちのことや緑茶のことをもっと知りたいです。皆さんと交流できることを楽しみにしています。

どうぞよろしくお願いいたします。

Profile

- ・名前 Madeline Rae Parrish
- ・出身 アメリカ合衆国ノースカロライナ州
- ・年齢 24歳
- ・趣味 写真



本町の第8代目ALT (外国語指導助手) として、アメリカのノースカロライナからマデリン・レイ・パリス

シユ先生が着任しました。2年目となるアレン先生 (アレン・クリストファー・ヴァンヘレン) とともに、

Welcome to Ujitawara

ようこそ 8代目マデリン先生

保育所・幼稚園での英語遊びや、小学校・中学校での英語教育に携わります。

←マデリン先生の歓迎セレモニー(8月5日、総合文化センター)。町立保育所の園児から花束をプレゼント。

秋の町内全域で クリーンキャンペーン

9月21日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・郷之口=午前8時～/銘城台=午前9時～
岩山=午前9時30分～
奥山田=9/23(祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町推進協議会(会長=西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

【実施方法】地区ごとに集合し指定の場所のごみを収集

【集合場所】各地区公民館・自治会館

図 和い輪いまちづくり宇治田原町推進協議会事務局 (教育委員会教育課内 ☎88-5850)



←切林公民館から山を東に入る案内標識が地域の人によって設置されている。↓鎌倉時代に建てられたとされる宝篋印塔。高さは160cm。



文化「財」発見

まちの隠れた歴史めぐり ③

わらじ神 宝篋印塔(南)

南の切林地区にある供養塔「宝篋印塔」(町指定文化財)。地元では「わらじの神さま」と呼ばれ、足の病の神様として今も

信仰されている。名前の由来は、南地区から和東、伊賀、大和へと向かう間道の起点にこの宝篋印塔があり、旅人がわらじの緒を締め直し、足元をかため古いわらじをここへ残して旅立った場所であり、人々が道祖神的な存在価値を求め祈ったためと思われる。今もわらじや草履が絶えることなく供えられている。

図文化財保護委員会事務局(教育委員会教育課 ☎85850)

くどうてん

シベリア抑留を経験した中辻さんの話。「日本に帰ってから毎年、特産品を贈り続けていた十数人の戦友が3年前に誰もいなかった」。また、ナガサキの被爆体験の語り部をされている八木さんが言った「いずれ、最後の被爆者が亡くなったという、大きなニュースが流れる日が来る」。戦争を知る世代がいなくなるときが、確実に迫っています。被爆地では、「語り部」の継承者の養成が始まっています。継承者になるためには、体験の事実はもとより、被爆者の思いを引き継げるよう、特定の語り部に付いて学びます。戦争や被爆を、ただの歴史の一部にしないよう、平和への思いを引き継がなければならぬと強く感じます。(K)

わが家のアイドル。



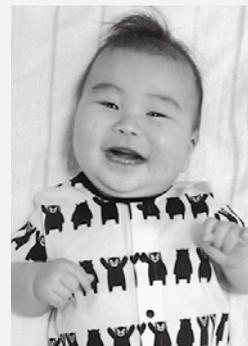
相模うららちゃん(1歳)
べっぴんさん♡すくすく育っています!!



木下夏綸ちゃん(1歳)
これからも笑顔で楽しくいこうね。



辻井しずくちゃん(4か月)
お母さん思いの手のかからない子♡よく寝て、遊んで、大きくな～れ!



木原宏介ちゃん(6か月)
これからも元気にすくすく大きくな～れ!!



橋本力弥ちゃん(5歳)
5歳のお誕生日 おめでとう 兄ちゃん達の様に強い男になれ

元気のヒケツに登場する80歳以上の方を募集中 「写真」に、「氏名(ふりがな)」、「年齢」、「元気の秘訣(50文字以内)」、「電話番号」を添えて、郵便またはEメールでお送りください。ご希望があれば、広報担当者が写真撮影に伺います。わが家のアイドルに掲載する乳幼児を募集中 写真と、子どもの「氏名(ふりがな)」、「年齢(〇歳〇か月)」、「メッセージ(25字以内)」をお送りください。

■投稿先 総務課広報(☎88-6631) 〒610-0289(住所記入不要) Eメール info@town.ujitawara.kyoto.jp